



Nihongo Network News

2001.12.7発行

No. 34

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク（連絡協議会）として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 ☎03-3235-1171

東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo.4

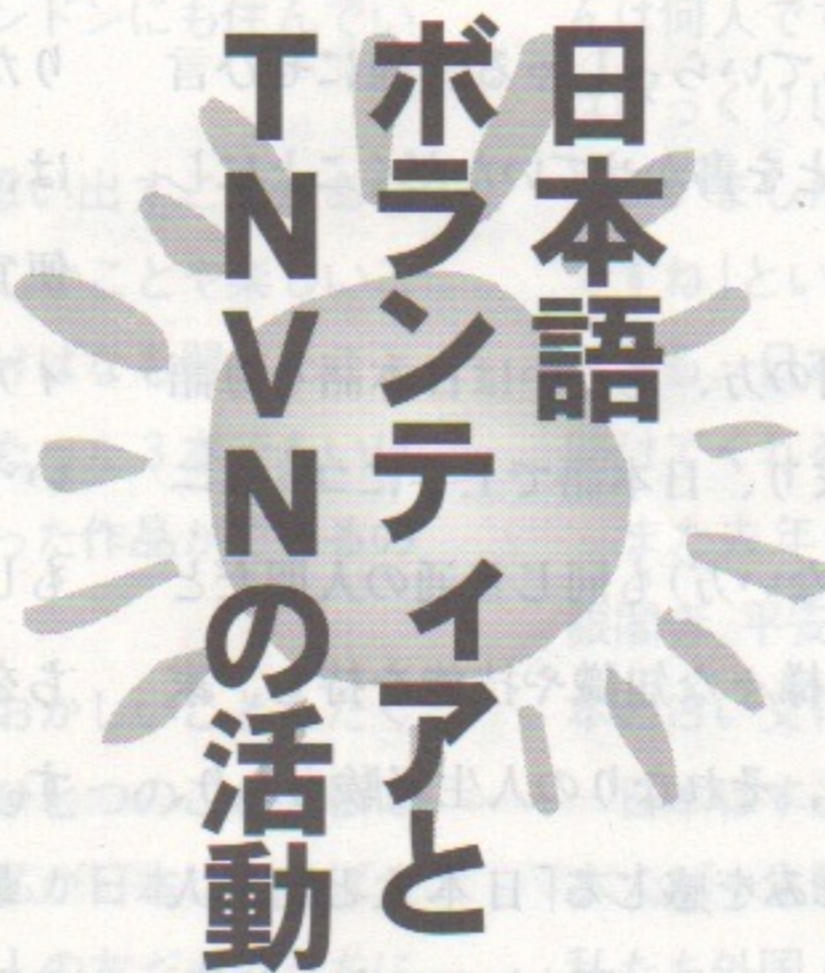
世界情勢の多様化の中で、国際社会の一員である私達にも世界に目を向けた国際理解が求められています。私達の身近には生活やコミュニケーションで日本人との会話や情報伝達に不自由をされている外国生まれの方々も多く、こうした方々をボランティア日本語教室の皆さんは隣人として支援しています。

首都圏のボランティア日本語教室の状況

TNVNでは昨年会員団体を中心に都内で活動する団体・グループを紹介する「ボランティア日本語教室ガイド2000・東京」（掲載団体：137（教室：157））を発行。

ボランティア教室からのアンケート回答結果をニュースレター NO29～33に連載。ボランティア教室とボランティア数・学習者数、ボランティア教室の設立、教室の活動曜日・時間別、学習者の受け入れ、クラスでの学習形態、国籍・地域別学習者、経費の用途等を紹介。

教材（未掲載）は、それぞれ、自主教材から市販教材、新聞・チラシまで学習者の状況や要望で多岐になり、初心者（入門）向けの教材には悩んでいるところが多いようです。



TNVNの活動状況

毎週金曜日午後、東京ボランティア市民活動センター（TVAC）で事務局を開き、地域で活動している有志ボランティアが日本語ボランティアに関する相談窓口、ニュースレター発行、講習会の開催に関わり、ホームページの発信、E-mail問い合わせの回答、外部で開催する活動へ参加等にも対応しています。

TNVNが設立されて8年、この間TVACを初めボランティア団体・個人や多方面の方々のご協力で活動が維持されて来ました。

最近TNVNホームページへのアクセスが増加し、E-mailでの問い合わせも

多くなり、取り巻く環境が変化している中でTNVNのあり方を運営委員会で話し合っています。

この状況下でホームページ、E-mailの充実を図るため、新体制で運用を決め、新編集方針に基づきニュースレターは本号から8頁に変更させて頂きます。

定期開催している入門講習会では受講者に日本語ボランティア活動の基本的な理解をして貰っています。

来年1月には講習会「IT日本語教材の活用方法」を文京区国際友好交流協会との共催で開催を予定、2月には「使える教材、使えない教材」をテーマに情報交換会を予定しています。

外部で開催される活動への参加として平成13年度国際交流週間IN東京国際フォーラム「地域国際化セミナー」（2002年2月3日：東京国際フォーラム）に「国際理解教育とボランティア日本語教室の協力」（仮称）で参加をします。

最後に国際理解が深まる中、アメリカで同時多発テロが発生。この波紋は人々の心と行動に大きな影響を与え、誠に残念な事態を招いています。外国の方々と接しているTNVNとしては、人々が安全で平和な生活が出来るよう、一刻も早い解決を祈っています。

梶村 勝利（TNVN副代表）

連載を終わるに当たって

「正しい日本語」とは何か

日本大学助教授

福田知行

第27回連載を終わるに当たってこの連載も今回で最後になりました。もう27回も書いたかと思うと歳月のたつのが本当に早いと思います。みなさんからこの連載をおもしろく読んでくださっているというような話を聞くとうれしく気恥ずかしい反面、もっとおもしろいもの、もっと役に立つものを書かなければならないという責任感が出てきてなかなか書けなくなり、担当の方を困らせたりもしました。この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、最後に何を書こうかと迷いましたが、やはりボランティアとして地域で日本語教育に係わりを持っていらっしゃる皆様にぜひ言っておきたいことを書かせていただくことにしました。

一つは、外国の方、あるいは日本語を母語としない方(つまり、日本語で上手にコミュニケーションできない方)も同じ普通の人間だということです。様々な知識や技能を持ち、家族や友人がいて、それなりの人生経験もあり、喜び悲しみ苦しみを感じる「日本人と同じ人間」なのです。なぜ、こんな当たり前のことを言うかというと、外国の方に慣れない間は非常に違和感を感じる日本人が多いからなのです。



特に気をつけてほしいことは、成人の

外国の方は子供ではないということです。成人としての羞恥心、自尊心が十分あり、日本語が話せないから、日本語が下手だからといって「子供扱い」することは人権を踏みにじるのと同じことなのです。

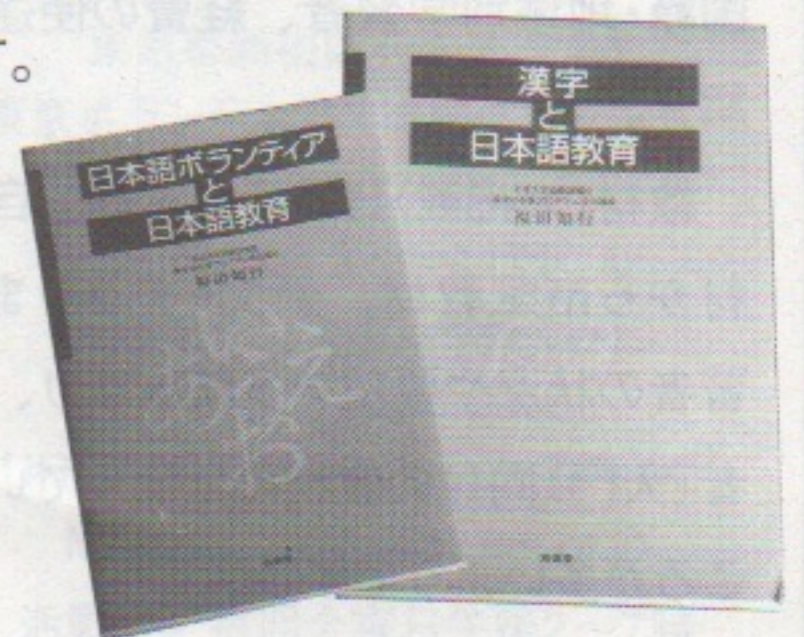
もう一つは、「仕方なく」日本語を学んでいる外国の人々も大勢いるということです。日本で暮らすには日本語が話せなければ不便だから勉強しなければならないとか、友だちを作りたいとか、友だちに会いたいとか、あるいは、必要な情報が手に入るとか、いろいろな便宜があるからとか、様々な理由でボランティアグループに行く人も大勢いるのです。そういう人たちは日本語の勉強に熱心ではないかもしれませんが、だからといって、そういう人たちを排除するようなグループはいないと思います。

最後に、自分たちのやっていることは何なのか、ということ問いかけ続けるのを忘れないでほしいと思います。なぜ「正しい日本語」なのか、なぜ「正しい日本語」を教えなければならないのか、そもそも日本語を教えることはいいことなのか、外国人とは何なのか、日本人とは何なのか、そういった根本的なことを問いかけ続けてほしいのです。

長い間、お読みいただき、ありがとうございました。

現在は遅ればせに始めたパソコンにはまっています。家では子煩悩なお父さんです。

(林川 玲子)



福田さんは、日本大学本部日本語講座で交換留学生、大学院生、研究員などの日本語教育に15年以上も携わっています。専門は文法だそうですが、最近は漢字にも凝っているようです。10年ほど前に世田谷で日本語ボランティア活動に足を踏み入れ、一時はかなり深みにはまっていました。これも凝り性のなせる業かもしれません。



ご存知ですか？

今回よりこの欄では、皆様のちょっとした話、知りたいことなどを募集し掲載します。幅広い分野での内容を掲載しますので、是非寄稿お願いいたします。

今回は料理の紹介です

タイグリーンカレーの作り方

Michiko ALLENのThai Green Curry

材料 (4人分)

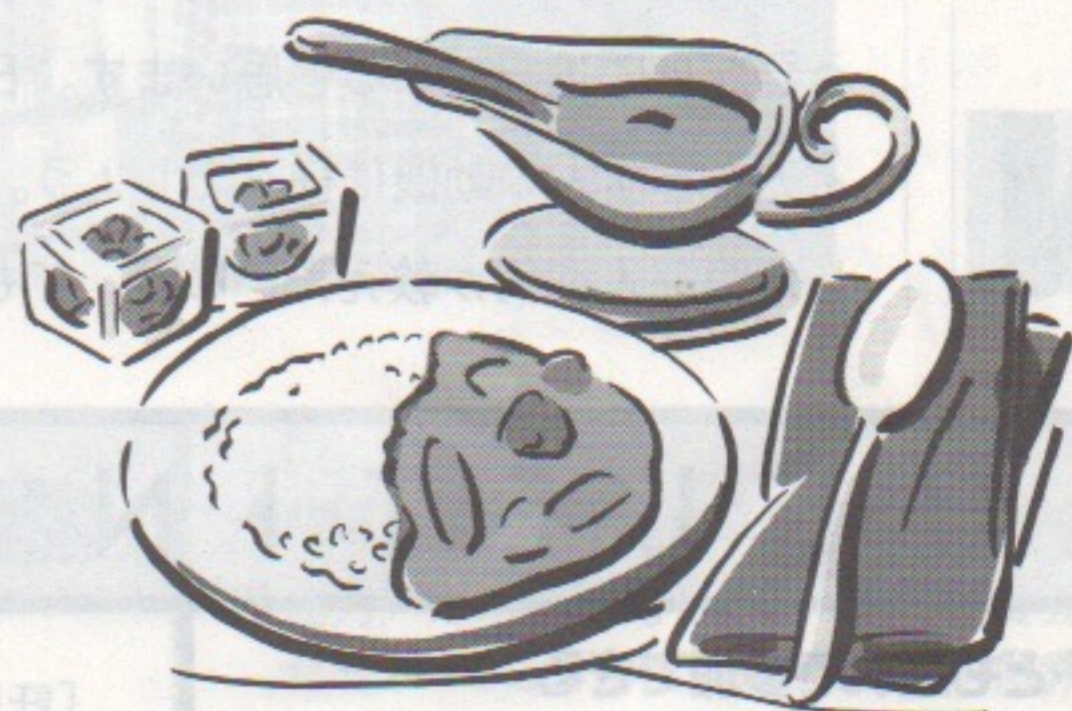
グリーンカレーペースト……………1/2袋
ココナッツパウダー……………1袋と1/2
牛乳……………200cc
水……………200cc
鳥胸肉……………200g
生バジルの葉……………5~6枚
ナムプラー……………大さじ1
油……………大さじ1
野菜A (レッドパプリカ大1/2個、イエローパプリカ大1/2個、ブロッコリー1個、ナス4本、たけのこ水煮200g)

食材のタイグリーンカレー、ココナッツパウダー、ナムプラーはこちらのお店にお問い合わせ下さい。

●カルディコーヒーファーム
フリーダイヤル 0120-522-699
ホームページ <http://www.kaldi.co.jp/>

作り方

- ① 野菜Aと鳥肉は、1口大に切る。
- ② 野菜Aは柔らかくなるまでゆで、ザルにあげておく。
- ③ 鳥肉はゆでて中まで火を通し、ザルにあげておく。
- ④ フライパンに油を入れグリーンカレーペーストを炒め、混ぜ合わせたところに②と③を入れ10秒程度からませる。
- ⑤ 鍋に水、牛乳、ココナッツパウダーを合わせて入れ、弱火で沸騰させないように混ぜてココナッツパウダーを溶かす。
- ⑥ ⑤の鍋に④の中身を
加え、ナムプラーを
好みで調節しながら
入れ、火をとめる。
このとき煮過ぎない
ように気をつける。
- ⑦ 最後にバジルの葉を
ちぎって入れる。



万華鏡

習慣のちがい

このコーナーでは日本と異なる生活様式を取り上げてみたいと思います。

日本に住んで習慣の違いがあることを感じます。

たとえば、友人や親戚などから物もらったり、ごちそうになったりしますと、次に会った時、必ず「このあいだはどうもありがとう、ごちそう様でした」などと言いますね。最初何でそういうことを言うのかと不思議に思いました。というのは、もし中国でこのようなことを言うと、相手は「エ〜、また何かもらいたいの、またごちそうしてほしいと思われる。で

も日本では次回に会うときは礼儀の一つだそうです。

やはり文化の違いで、ものごとの考え方もちがいますね。

その国の文化、風俗、習慣に慣れると言うことは、まず十分色々なことを勉強して理解した上に、慣れていくものと私は思います。

佐藤 ゆり / ちゅうごく (ともだち)
これは作文の一部を抜粋しました。

にほんご書店そうがく社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-38 BFビル3F
 TEL: 03-3219-2511 FAX: 03-3219-2512
 ホームページ: <http://www.sogakusha.co.jp> E-MAIL: info@sogakusha.co.jp

今回はユニークな教材評価などしておられる日本語教材の専門書店「そうがく社」を訪ねました。

地下鉄「神保町駅」から5分。ビルの3階のドアを開けると、こじんまりしたお店に日本語の本が所狭しと並んでいました。十年前高円寺に開店し、その後ここに移ってから六年になるそうです。店主である鈴木隆さんはいくつかの出版の仕事（「ひらがなタイムズ」など）を経て、作る側から売る側に転身されたとのこと。

その鈴木さんにいくつかの質問を投げかけてみました。

日本語ボランティアについての感想は？

——お金をもらわないから「ボランティア」という発想は間違っていると思います。日本語ボランティアを志す人の動機は様々でしょう。外国人と交流したい、人に何か教えたいなど。でもそこに共通し

ているのは社会に参加するという意識だと思います。つまりはその地域で気持ち良く生活したいという欲求の表れではないでしょうか。例えば隣人のごみの出し方が悪い。それがたまたま外国人で日本語や日本の決まりが分からないことが原因だったら、日本語や決まりを教えてあげれば、お互いに良い結果になります。

この場合「先生—生徒」という関係は成り立ちません。

日本語ボランティアとは、異文化の人たちとともに日本で暮らして行くための社会的な活動だと思います。日本語を教授法に従って教える「日本語学校」とは役割が違います。教科書を教えることより、相手の状況やニーズに応じた教え方、学習支援のあり方が必要です。

「それは危ないです」という表現を使う人がいる

BULLETIN BOARD

子ども連れで参加できる日本語教室を考える

- ◆日時/平成13年12月16日(日)
- ◆会場/東京ボランティア・市民活動センター 新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10F (JR 地下鉄 飯田橋駅下車)
- ◆主催/多文化共生センター東京21 乳幼児を連れた学習者etc.に開かれた日本語教室を考える会
- ◆後援:独立行政法人 国立国語研究所
- ◆スケジュール
 10:00~11:00 調査報告
 11:00~11:30 テーマI
 ◎子どもを受け入れる

「託児を実現する」
 「託児の現状と課題」

11:30~12:00 テーマII

◎学習者の自立を援助する

「学習者もボランティアを」

「多言語育児情報誌をつくる」

13:00~16:00 テーマ別分科会と全体会

◆定員/60名

◆参加費/500円(資料費)

◆昼食代/500円(希望者のみ)

◆参加申込み/多文化共生センター

東京21「シンポジウム」受付係

FAX:03-5825-1290

E-mail: cmia-2-i@fd.catv.ne.jp

日本語ボランティアを募集

- ◆日時/毎週水曜日 18:30~20:30
- ◆会場/港区女性センター
 出来ましたら420時間教授法修了者、経験者を希望します。
 ご連絡をお待ちしております。
 IAF日本語教室 岩撫
 TEL/FAX:044-433-0471

にほんごをまなびたいかたに

- ◆団体名:MIF日本語教室
- ◆日時
 火曜日10:00~11:30(託児付き)
 19:00~20:30
 木曜日10:00~11:30
 金曜日14:00~15:30(託児付き)

でしょうか？新聞を読むときに音読する人がいるでしょうか？

従来の日本語教育の方法を疑ってみるぐらいの気持ちで地域日本語教育ならではの日本語のあり方をもっと模索して欲しいと思います。

||| お店に来られる方へのアドバイスは？

——<日本語をどんな人になぜ教えるのか>が漠然としてる方は是非質問してください。どんな質問でも構いません。答えはないかもしれませんが、今必要なのは何かを考えるお手伝いができると思います。絵カードなら必要に応じてバラで買えるぐらいの主体性が身につくかもしれません。(本当にバラ売りしています)

||| 日本語教材は高いと思いませんか？

——先ほどの話しと重複しますが、高いと断言できるほどの商品に対する主体的な価値観を消費者として持っていますか？安い物でも、まけてもらったうれしいと言うのが本音ではないですか。もちろ

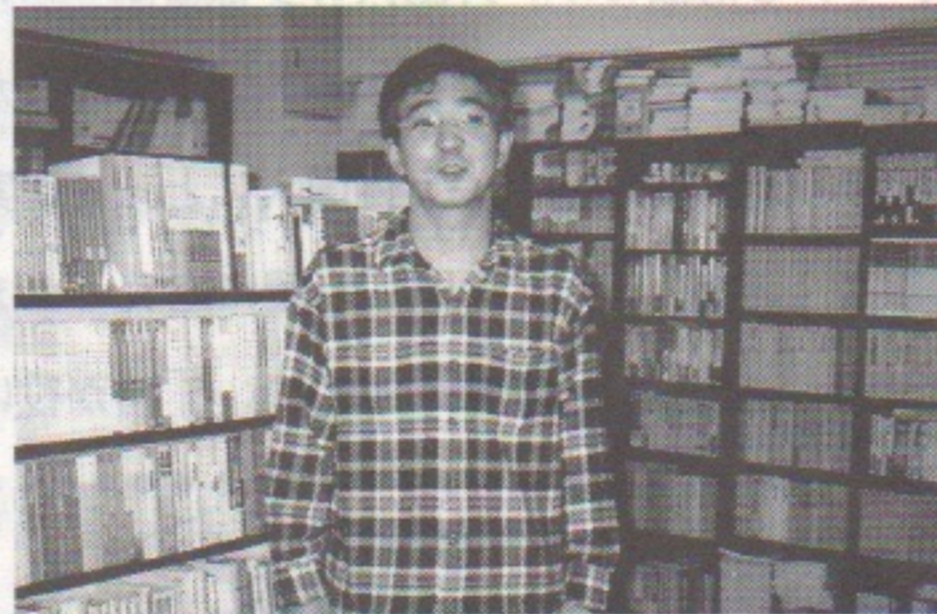
ん内容からして高いと断言できるも本はたくさんあります。再販制度という出版業界のしくみも問題でしょう。まあ店先で嘆くより出版社に抗議するぐらいの主体性を持ってください。

||| 「そがく社通信」で日本語教材本について過激なランク付けしてると言われますが？

——まったくの独断です。判断基準は、著者が一定の読者をイメージしているか、教える・使うためのシカケ、を用意しているかなど、多面に渡ります。まあ自分に甘く他人に厳しくということですね。(笑)

お忙しいところ長時間熱心にお話しくださりありがとうございました。

店主の鈴木隆さん



19:00～20:30

土曜日10:00～11:30

◆会場／町田市民フォーラム4F
(町田国際協会内)

◆費用／各クラス300円/月

◆託児料／子供一人一回200円(2歳以上)
*グループレッスン*第5週目と祝日、
12月26日～1月7日は休み

◆申込み・問合せ

町田国際協会

TEL: 042-722-4260

FAX: 042-732-1898

E-mail: mifnet@mb.infoweb.ne.jp

URL: <http://village.infoweb.ne.jp/~mifnet/>

TNVN からお知らせ

※詳細は折り込みチラシをご覧ください。

平成13年度
「国際交流週間IN東京国際フォーラム」
～地域国際セミナー～開催
地域国際化セミナー

◆日時／平成14年2月3日(日)10:00～16:30

◆会場／東京国際フォーラム

◆目的／都民の国際社会に対する理解と協力を深め世界に貢献する東京作りに貢献するとともに、地域(東京地域)の国際化を推進する

◆内容／平成14年度から実施される総合的な学習に関連し、国際理解教育をメインテーマとする。

◆主催／財団法人東京国際交流財団

◆共催／日本国際連合協会東京都本部

◆協力／地域国際化セミナー企画委員会
セミナーでは「学校における国際理解教育へのボランティア日本語教室の協力事例」のテーマでTNVN会員団体(3団体)が事例報告

IT講習会の開催を予定

◆テーマ

「日本語教育支援総合ネットワーク・システム」の使い方、他

◆日時／平成14年1月下旬

◆会場／文京区本郷台中学校

◆主催

東京日本語ボランティアネットワーク
文京区国際友好協会



はじめまして、BIAです。

文京区国際友好交流協会

原田 麻里子 (文京区)



2002年1月、文京区国際友好交流協会(BIA)の『ボランティアによる日本語教室』が待ちに待った産声をあげようとしています。

「日本語ボランティア養成プログラムを実施したい!」と考え始めたのは2000年春、その時点でBIAでは教室形式の日本語教室のみで、それも初級のみ。外国人の多様なニーズに応えられる状況とは程遠いものでした。「学びたい」「言葉ができれば暮らしやすくなるのに…」という外国人にとって切実な願い、熱心な眼差しを前に「BIAではご希望に応えられません」と答えるしかない切なさ。しかし一方では、「何か役に立

ちたい」「交流したい」という区民の声も多く聞こえてきていました。

外国人が日本語で暮らしやすい環境を作る、そのお手伝いがBIAにできないだろうか?区民が日本語を使って交流・支援を行うきっかけ作りをしたい…こうして「日本語交流員養成講座」が2000年秋にスタートしました。現在、講座修了者が「日本語交流員」として部会を組織し、日本語・日常生活支援を通して交流を楽しんでいます。さらに「ボランティアとして学習支援を行うための“日本語”の基礎知識を知りたい」という交流員の声に応え、今、学習会を行っています。

そして、2002年1月から交流員が中心となって、前述の日本語教室をスタートします。当初は週一回のみですが、今後ボランティアの数が増えることを期待し、順次クラス数を増やしていく予定です。いずれは区内で活発に運営されているグループと協力体制を整備し、外国人の多様なニーズに応えられることを夢見て、BIAのボランティアは活躍中です!

賛助会員紹介

(株)凡人社

●本社

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル8階
TEL:03-3263-3959 FAX:03-3263-3116

●麹町店 同上 1階

TEL:03-3239-8673 FAX:03-3238-9125

日本語教育に関する教材などの出版、販売を主軸に展開。国内、海外の日本語教育に微力ながら協力させていただいております。今後も誠心誠意尽くす所存ですのでよろしくお願い致します。

●凡人社の新シリーズ

初級から中級への橋渡しシリーズ (1)

漢字・語彙が弱いあなたへ (12月中旬発売予定)

足立章子・黒崎典子・中山由佳著 B5判/112頁 (別冊解答12頁付き)

ISBN4-89358-492-8 予価1,400円+税

本書は、初級は一通り勉強し終わったけれど、漢字や文型がまだうまく使えないという初級修了学習者のための復習用練習帳です。読解活動をベースにして、「漢字」と「語彙」の運用力を伸ばし、中級へのスムーズなステップアップを実現します。

自習用教材ですので、学習者が楽しく学習できるように、各ユニットを2ページまたは4ページと短くし、豊富なイラストと豆知識的なものを扱ったコラムも挿入。

また、日本語能力試験3級までの漢字や語彙を復習できるようになっています。

ユニットごとに関係のある語彙・漢字をまとめて復習し、覚えることもできます。

単語帳や漢字カードのように使用することも可能です。中級に入る前、あるいは中の授業の中での副教材、宿題用としても是非ご活用ください。

韓国と日本

曹榮泰 (チヨヨンテ)

韓国／国際交流日本語のなかま(北区)

すると、だんだん慣れてくると思う。これは今だけの問題ではなく、未来の両国の子孫のために本当に必要で、大切なことだと思う。



韓国は5千年の長い歴史をもっている。

日本と隣にあるので密接ながら複雑で新しい国際関係の波が流れている。韓国と日本の間にも未来志向の考え方が必要の時だ。

まず、両国の関係には平等で対等であることが必要だ。そのために両国の若い人やこれから成長する子供たちと一緒に、お互いの国や文化や国民性を知ることが大切だと思う。

互いに言語、生活の習慣などを知って理解

日本での生活

メノン・ミーラ
インド (やさしい日本語／江東区)

私はメノン・ミーラです。インド人です。日本に住んで4年になります。日本に来る前、2年半タンザニアと約1年間ロンドンにも住んでいました。

時々自分の国や家族を思い出すことがありますが、日本の生活でうれしいことや楽しいこともたくさんあります。いけばなを習ったこともそのひとつです。お花がたった3本でもいけかたによってそれぞれちがった作品ができるのにびっくりしました。

ことばがわからないのでおかしいこともたくさんありました。その中のひとつのことを私は生涯忘れないと思います。私が日本にきたばかりのことです。主人の日本人の友だちのうちに招待されました。私は日本人のことばをひとつかふたつしか知りませんでした。日本語で話すことはすごく興味がありました。

そして、「お子さんは何人ですか」と質問したかったのですが、お子さんのかわりに「おくさんは何人ですか」とききました。主人の友だちはびっくりした顔で私を見て「子どもはふたり」といいました。そして「あなたの日本語は上手ですね」といいました。私ははずかしかつたけれども、日本人の思いやりを感じました。私を助けてくれるいい日本の友だちができました。

また去年の秋京都に行きました。金閣寺、銀閣寺、平安神宮、清水寺などを見ました。日本の古い文化を見て感動しました。

日本はすごくきれいで平和な国です。私は日本人が一生懸命働くことに感心しています。私たち外国人は日本人から学ぶことがたくさんあると思います。これからもいろいろなことにチャレンジして、日本での生活を楽しまたいと思います。

「グッドモーニング」から「おはよう」へ

松川彩子 / やさしい日本語 (江東区)

Pさんに日本語の勉強を続けてもらいたい。こんな体制でPさんとの勉強が始まったが、最初は90分授業のうち60分経つと「もう頭がいっぱいになった、今日はここまで」と自分で決めて、フリーキングと称し自分の仕事のこと、家庭や家族のこと、職場や町で見かける日本人の「ここがヘン」などを(英語で)話す。授業が終わると「Good job!」と私をほめて帰って行く。私は学習者に(授業の)指導権を握られ、授業中に英語を使われてと落ち込むが、他の先生方の「本人が1週間のモヤモヤを吐き出して、来週また来てくれれば…」という言葉に勇気付けられる。

ある日「オハヨーゴザーマス」とみんなに声をかけて教室に入ってきた。ああ、これを「至福」とも言うのだろう。

「Good Morning!!」と言いながらカナダ人男性のPさんは教室に入ってくる。「英語の教室は隣だよ」と私は心の中で突っ込みながらも「おはようございます」と気合を入れて答える。

Pさんは日常生活のほとんどを英語で通せる環境にあるが、それでも不便なこともあるのだろう。そこで「やさしい日本語」で日本語の勉強を決意(本人曰く「とても大変な決断」だったそう)した。しかし平日(金曜日)の午前の教室ということもあり、他の学習者はほとんどが女性、しかもPさんのグループは勉強熱心な韓国人や日本で家庭を持った人ばかりで、Pさんは気後れするばかりだ。そこで本人が日本語と女性が多いグループに慣れるまで「マンツーマン」方式をとることにする。こちら側も手不足でやりくりも大変だが、とにかく

NETWORK INFORMATION

●日本語ボランティア相談窓口

事務局では日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえします。電話でご確認の上、お気軽におこしてください。

●日本語ボランティア入門講習会

日本語ボランティアを始めたい方のために役立つ基礎知識の講座です。活動のオリエンテーションとしてぜひ受講されることをおすすめします。全4回(4ヶ月)

◆テーマ

- (12月) 日本語再発見
- (1月) 学習者はどのような人たちか?
- (2月) 日本語学習をどのように支援するか?
- (3月) 日本語ボランティアとは?

◆日時

- 12月14日(金) 午後2:00~4:00
- 12月21日(金) 午後6:00~8:00
- 1月11日(金) 午後2:00~4:00
- 1月25日(金) 午後6:00~8:00
- 2月8日(金) 午後2:00~4:00
- 2月22日(金) 午後6:00~8:00
- 3月8日(金) 午後2:00~4:00
- 3月22日(金) 午後6:00~8:00

◆会場

東京ボランティア・市民活動センター会議室

飯田橋セントラルプラザ10階 (JR・地下鉄飯田橋駅下車徒歩1分)

- ◆参加費/1回600円 (TNVN会員は300円)
- ◆参加申込み/直接、会場へおこください。

●TNVNへの入会を希望する方は

TNVN事務局まで「活動・入会案内」を郵便でご請求下さい。(送料90円 切手同封)
 <入会手続>申込用紙に必要事項を記入し、TNVN事務局にまで郵送またはFAXでお送り下さい。あわせて会費をお振り込みください。会員の方には毎回ニュースレター等を郵送するほか、TNVN主催の講習会等へ会員価格で参加できます。

- ◆会費/正会員：年会費3,000円
協力会員：年会費2,000円
賛助会員：年会費1口1万円

◆会費払込み先

郵便振替口座番号00100-1-719259
 口座名
 東京日本語ボランティア・ネットワーク
 (通信欄に「年会費」と記入)

連絡先の変更等は、郵便かFAXで

団体の代表・連絡先(TNVNからの郵便物の宛先)・住所などの変更および退会は、事務局まで郵便やFAXでお知らせください。



SPECIAL THANKS

★「そうがく社」鈴木 隆店主様
 快く取材に応じていただきました。

新入会員のご紹介

- ★正会員(団体)
 定住外国人支援ネットワーク
 町田国際協会
- ★協力会員(個人)
 パパット恒子、鳴原武郎、鷺田薫
 *2001年11月 日現在の会員数:正会員68団体、協力会員93名、賛助会員6

訂正

NO33「地域の日本語ボランティア事情」の記事で訂正箇所がありました。月曜クラス(10:00~11:30)は(~ 12:00)です。

ニュースレターの新体制

これまでTNVNの運営やニュースレター編集の要としてご活躍いただいていた前田恭子さんがご事情でTNVNから手を引かれました。これにより、ニュースレターの編集方針を一部変更してNO34より発行する事となりました。新たなメンバーにも加わってもらい、かわらぬ紙面を作って行きますので宜しくご支援、ご協力をお願いします。またご意見を遠慮なくお寄せ下さい。

梶村勝利：TNVN副代表

編集/上野悦子、大久保澄子
 岡田美奈子、甲斐武子、梶村勝利
 木村茂、床呂英一、富岡真木子
 林川玲子、山縣みつる、山崎美智子
 レイアウト/鶴田環恵

東京日本語ボランティアネットワーク事務局

〒162-0823
 東京都新宿区神楽河岸1-1
 東京ボランティア・市民活動センター
 メールボックスNO.4
 TEL:03-3235-1171
 (呼び出し:金曜日午後のみ)
 FAX: 03-3235-0050
 URL: http://www.t3.rm.or.jp/tnvn/
 MAIL ID: tnv@t3.rim.or.jp
 活動日/毎週金曜日午後2~7時

事務局 DIARY

最近の日本語ボランティア事情は、多様化が目立つようになりました。

特に2002年の完全実施を前にした「総合的な学習の時間」の一環として、国際理解教育を取り入れる小中学校が増えています。足立区のある中学校では、外国の方々と触れ合い、国際理解を深めるプログラムに取り組み、これに日本語ボランティアが協力しています。

一方、ある中学校の国語教員が中国人生徒の国語テスト結果を見て「こんなにできるはずはない。カンニングしたんだろう」とクラス全員の前で暴言を吐き、そこには中国人だから国語なんてできるはずがない、との思い込みの感情が見て取れます。自尊心と面子を潰されたその生徒は、いま不登校になりかかっています。

そもそも「総合的な学習の時間」は、今日の学校での病理的現象を検討の上に生み出されたものといわれています。この暴言を吐いた教員の資質には疑問を感じさせられます。

日本語ボランティアは、単に日本語を教えるだけでなく、異文化を認めて相互に学び合い、共に人間らしい豊かな生活が送られるよう協力して行く目標があるはずで、日本語教師を強調したがるボランティアが多い中、国際理解という難解で多岐にわたる概念について、考えさせられるこの頃です。

TNVNには、国際理解に携わってきた諸先輩がおられ、そうした先輩の意志をニュースレターに反映していきます。

木村茂 (足立区:グループWA)